

事業番号 2021 - 府 - 新22 - 0012

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	AI活用促進に資するガバナンス・リテラシー強化手法の開発			担当部局庁	科学技術・イノベーション推進事務局	作成責任者			
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	参事官(社会システム基盤担当)	根本 朋生			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	科学技術・イノベーション基本法(平7法130) 内閣府設置法(平11法89)第26条			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画 (令和3年3月26日閣議決定) 統合イノベーション戦略2021 (令和3年6月18日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	国内外の情勢の変化を受け、新AI戦略の策定検討が進められている。しかしながら、特に政府機関においてAI技術の導入・活用が遅れている。その要因として、政府のAI活用に対するガバナンス(規制、標準化、ガイドライン等)が検討途上であること、AI活用に必須であるリテラシー等の教育環境が構築されていないこと等が挙げられる。そこで本事業では、AIガバナンスの強化に資する具体的手法を開発し、政府機関等におけるAIの活用促進を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	AI導入の阻害要因への解決アプローチ、AI活用推進のための組織編成・制度設計、海外政府機関のAI活用状況等を調査・分析し、政府機関向けのAI活用ガイドラインを作成する。 ・政府のAI活用ガバナンスのあり方検討:有識者等で構成する検討会において、我が国のAI活用に対するガバナンスのあり方について検討 ・ガイドラインの要件検討:組織編成・制度設計の指針、必要リソース定義等の検討、実組織における適用性確認等 ・AI活用事例の提示:ガイドラインに掲載する事例調査								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 状況	当初予算						89.4	
		補正予算							
		前年度から繰越し						0	
		翌年度へ繰越し							
		予備費等							
	計		0	0	0	0	0	89.4	
	執行額								
執行率(%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-					
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	科学技術基礎調査等委託費	0	89.4	新たな成長推進枠:89.4					
	諸謝金	0	0						
	計	0	89.4						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 -年度	目標最終年度 5年度
	政府機関において、AI活用ガイドラインの活用によるAI導入の阻害要因の低減、導入が進む。	AIを導入している政府機関の割合	成果実績						
			目標値	%					70
達成度	%								
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込	
	政府機関向けAI活用ガイドラインの策定	活動実績							
当初見込み								1	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込		
	調査等委託費/策定ガイドライン数	単位当たり コスト	千円						
計算式		委託費/策定数							

政策評価、新経済・財政再生計画との関係

政策									
	施策								
測定指標	定量的指標		実績値	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度
				目標値	-	-	-	-	-
	定性的指標		目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)				
					施策の進捗状況(実績)				

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

取組事項	分野:	-							
------	-----	---	--	--	--	--	--	--	--

(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	成果実績			-	-	-	-	-
	目標値			-	-	-	-	-
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
	成果実績			-	-	-	-	-
	目標値			-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	

本事業の成果と取組事項・KPIとの関係

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

政策評価

新経済・財政再生計画改革工程表 2020

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善																				
	項目	評価	評価に関する説明																	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	政府機関等におけるAIの活用促進は、「経済財政運営と改革の基本方針2021」におけるデジタル・ガバメントの確立に挙げられている「国のBPR推進」に資するものであり、社会のニーズを的確に反映している。																	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	国の政府機関においてAIの活用が進展するよう検討するものであり、国が行うべき事業である。																	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「成長戦略フォローアップ」及び「AI戦略2021」において、AIの信頼性・公平性等の確保に資する総合的な対策の取りまとめ・実施が求められており、本事業はこの実施に該当するもの。国が国費をもって優先的に実施すべき事業である。																	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。																			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 </div>																			
	競争性のない随意契約となったものはないか。																			
	受益者との負担関係は妥当であるか。																			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。																			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。																			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。																			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)																			
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)																			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。																			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。																			
関連事業	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。																			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。																			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。																			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">所管府省名</th> <th style="width: 20%;">事業番号</th> <th style="width: 65%;">事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名																
所管府省名	事業番号	事業名																		
点検・改善結果	点検結果																			
	改善の方向性																			

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	-			
平成28年度	-			
平成29年度	-			
平成30年度	-			
令和元年度				
令和2年度				

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

